

祝辞（大栄小学校卒業式）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

期待と不安いっぱい、入学されてから早6年がたちました。先生や友達と勉強や運動をして、これまでにたくさんの経験をされ、皆さんは、身体だけでなく、こころも立派に成長されたと思います。大変、うれしく思います。

5年前に、日本で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認され、今日まで、日常生活、あるいは学校生活に大きな影響がありました。皆さんは、その1年間に入学されていますから、ほとんど、コロナの影響を受けた小学校生活であったといえます。不自由な生活のなかでも多くの行事が中止や縮小となったり、学習スタイルも変わったり、いろいろなことが思い通りにならなかつたりで、我慢する場面が多かったと思います。反面、限られた環境の中で何ができるかという経験もされてきました。忍耐力と工夫する力もついたと思います。

また、このように困難な時にも、修学旅行や運動会、学習発表会などでは、まとまりが良く、息ぴったりの皆さんだったと聞いています。頼もしいかぎりです。

また、読み聞かせのボランティアで行かせていただきましたが、そのお礼というこ
とで直筆のお手紙をいただき、感動しました。

また、大栄小学校創立 50 周年記念式典あるいは事業では私も式典には参加しましたが、皆さんは、最上級生として、PTA や先生と連携を組んで、立派にその役目を遂行されました。

また、スポーツでは、県あるいは中国大会でも活躍され、立派な成績をあげられたということで、町のスポーツ表彰で表彰させていただきました。また、日頃の生活が他の模範ということで、親切賞や健康賞など町で表彰させていただきました。

さて、4 月からは、中学生です。勉強や運動など、レベルはどんどん上がってきます。でも、心配いりません。ここにいる大人は誰もが通ってきた道です。わからないことがあれば、まずは自分で考え、行動してみましよう。それでもできない、わからない場合は、いつまでも放っておくことなく、友達、先生、先輩、そして何よりご家族に相談してください。

先ほどは、一人ずつ将来の目標、夢について宣言されました。夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に夢なき者に成功なし。吉田松陰の言葉で私も好きな言葉です。是非、夢を持って、その夢の実現に向かって頑張ってください。

保護者の皆さまにおかれましても、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい中でお子さんの成長を見守っていただきました。このように立派に成長された姿を前に

感慨もひとしおのことと心よりお喜び申し上げます。中学生となれば、これまで以上に楽しみも多い反面、心を悩ませることも多々あろうかと思えます。皆さんも経験があったと思えます。しっかり向き合って、家族として・人生の良き先輩として、アドバイスをいただきますよう、よろしく申し上げます。

校長先生をはじめ、諸先生方、職員の皆様におかれましては、敬意と感謝の意を表しますとともに、どうかこれからもあたたかく見守っていただければと思えます。

おわりに、卒業生の皆さんの健やかな成長を願うとともに前途を祝し、お祝いのあいさついたします。

令和7年3月14日

北栄町長 手嶋俊樹